

## 平成21年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター  
農林センター茶業研究所

### 1. 摘採日

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月4日	5月6日	5月7日	5月7日
弧状仕立て	5月4日	5月7日	5月7日	5月6日

注) 平年は、平成6年～平成20年までの15年間の値

### 2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	742.3 ± 56.9	134	632.3 ± 74.9	114	555.7 ± 76.3	100
弧状仕立て	264.2 ± 56.6	71	340.1 ± 55.4	92	371.4 ± 50.5	100

### 3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	重量	指数	重量	指数	重量	指数
自然仕立て	53.1 ± 4.6	107	64.2 ± 7.3	129	49.8 ± 5.7	100
弧状仕立て	40.8 ± 10.2	75	62.6 ± 10.7	115	54.4 ± 8.6	100

### 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	690.4 ± 122.6	152	416.6 ± 63.8	92	454.6 ± 69.8	100
弧状仕立て	2008.3 ± 489.0	146	1161.8 ± 189.0	85	1371.1 ± 286.9	100

注) 自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

### 5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	47.3	57.1	45.1
弧状仕立て	71.8	60.6	45.1

## 6. 概要

### (1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園が5月4日で前年より2日早く、前5か年平均より3日早かった。弧状仕立て園も5月4日で、前年、前5か年平均より3日早くなった。

### (2) 生葉収量

10a当たりの生葉収量は、自然仕立て園が742kgで前5か年より多く、弧状仕立て園が264kgで前5か年より少なかった。収量構成は、自然仕立ては芽重型、弧状仕立ては中間型であった。

### (3) 病虫害の発生状況

チャノホソガのフェロモントラップ誘殺数は平年並であった。カンザワハダニについては一時的に発生が見られたが、著しい増加には至らず、一番茶新芽の実害はなかった。ミカントゲコナジラミが多発した。

### (4) 周辺茶園の状況

全農京都茶市場への出荷量は、前年比で煎茶 102%、かぶせ茶 105%、玉露 107%の状況。てん茶は製茶期間中である。(6月4日現在)